

芸術の複合的な研究を実践する 全国唯一の美術系大学院

秋田公立美術大学は、現代芸術を「複合」の観点から研究する「複合芸術研究科」を設置しました。「複合」とは、単に二つ以上のものが集まって一つになるだけではなく、異なる領域への越境や手法の併用によって価値の相乗効果を生み、それまでに存在しなかった新たな次元を創造することを指します。現代芸術の研究では、表現者の内と外にある「複合」に着目する必要があります。内にある「複合」とは個人の中に蓄積される表現技術や知識、視野などを掛け合わせて生み出そうとする過程であり、外にある「複合」とは、対象とするテーマを取り巻く背景や人、制約などの状況を捉えて連携・協働・誘導することによって、多様な気づきや広がり生まれる過程です。この二つの「複合」からなる現代芸術について、その領域を拡張していくため、事象の複合性に着目した芸術理論の学び、領域を横断した表現拡張の研鑽、社会に即応し具体的な提案から実践を行う実習などを通じて、自らのテーマに基づいた研究を行います。そして、学際的な領域横断の試みと多様な表現を通じて、人と人、人と社会をつなぐ、各領域で即戦力として活躍できる人材を育成していきます。

研究の目的

社会との関係性を深めながら領域を拡大している現代芸術を「複合の視点」から研究し、理論化・体系化する。

TRANSDISCIPLINARY ARTS

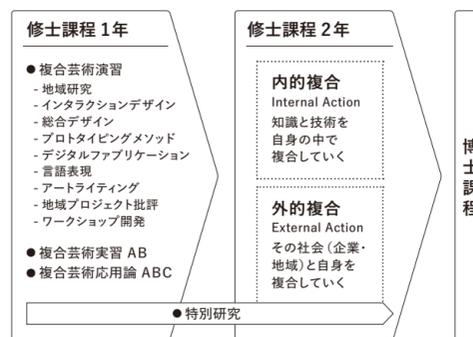
複合芸術とは？

「複合芸術は、自身の技術や資質を他の専門領域との交わりを通して拡張させる『内的運動』と、外部の社会に介入しそこにある諸要素の複合を積極的に推し進める『外的運動』の並走によって実現する。前者では、素材・技術・手法の尽きることのない複合の試みを通して新たな表現者の力が提案され、後者からは、潜在的な社会的課題が発見されながら新しい役割と社会のかたちが提示される。専門分化した芸術各領域の『型(かた)』を認めつつ、それを積極的にはぐらかし解体する自由で柔軟な想像力と、新たな表現領域や社会的価値の創造の上に、複合芸術は成立する。」

CURRICULUM

大学院修士課程の流れ

本研究科は、現代芸術の「複合」性を理解し、深く考察する講義と、集中的に様々な技法や手法を経験する演習、さらには、これらの学びを踏まえた実社会での実習を行いながら、自らの研究テーマを掘り下げていくカリキュラムとしています。作品を創り出すだけではなく、社会とのつながりや社会への発信を意識したカリキュラムとしています。



●入試情報

修士課程 (定員1名 一般推薦、第1期募集、第2期募集合わせて10名)	一般推薦	- 出願期間: 2020年7月20日(月)~7月28日(火) - 試験日程: 2020年9月5日(土) - 合格発表: 2020年9月10日(木) - 選考方法: プレゼンテーション・面接
	第1期募集	- 出願期間: 2020年10月7日(水)~10月13日(火) - 試験日程: 2020年11月7日(土) - 合格発表: 2020年11月17日(火) - 選考方法: 書類審査・記述試験・プレゼンテーション・面接
	第2期募集	- 出願期間: 2021年2月2日(火)~9日(火) - 試験日程: 2021年2月28日(日) - 合格発表: 2021年3月3日(水) - 選考方法: 書類審査・記述試験・プレゼンテーション・面接
博士課程 (定員2名)	一般選抜	- 出願期間: 2020年10月7日(水)~13日(火) - 試験日程: 2020年11月7日(土) - 合格発表: 2020年11月17日(火) - 選考方法: 書類審査・記述試験・プレゼンテーション・面接

●学生募集要項の請求方法

1. 大学へ直接請求する場合

返信用封筒(角形2号)にご自分の郵便番号・住所、氏名を明記の上、下記の郵送料分の切手を添付し、請求表示(大学院学生募集要項請求「修士課程」「博士課程」の別を記載)を朱書きした大学宛の封筒に入れ、下記請求先までお送りください。
郵送料|学生募集要項のみ 180円
申込先|〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3 秋田公立美術大学事務局 学生課

2. 窓口で直接入手する場合

本学キャンパス内の事務局学生課で配付していますので、直接お越しください。
受付時間|8:30~17:15 月曜日~金曜日(土日祝日・年末年始は除く)
Tel: 018-888-8105 Mail: kyomu@akibi.ac.jp

●入試に関するお問い合わせ

〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3 秋田公立美術大学事務局学生課
Tel: 018-888-8105 Mail: kyomu@akibi.ac.jp 詳細は大学院HPをご覧ください。

<http://www.akibi.ac.jp/daigakuin/>

INFORMATION

進学相談会 webオープンキャンパス

令和2年度のオープンキャンパスは特設webサイトにてオンライン開催します。URL等の詳しい案内は本学Webサイトで告知します。
このオープンキャンパスではオンラインでの進学相談会を設けます。制作や研究の相談、入試やカリキュラムの質問などを、大学院教員が対応します。校舎や設備の遠隔による紹介も可能ですので、みなさまのご参加をお待ちしております。

複合芸術研究科 第3期生修了研究展

2021年2月中旬に「秋田公立美術大学複合芸術研究科 複合芸術専攻 第3期生修了研究展」を開催予定です。多様な修士研究をはじめ、ゲストを招いたイベントや学生企画・パフォーマンスなどを予定しています。こちらも本学webサイトで告知していきますので、詳しい情報はそちらをご参照ください。

上記のイベント開催は新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、日程を変更する可能性があります。本学Webサイトにて最新情報をご確認ください。



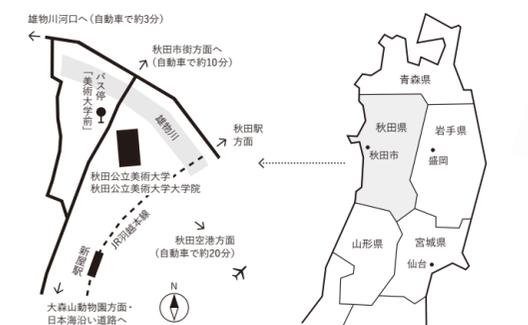
Instagram: @akibigrad
Twitter: @AkibiGrad
Facebook: @grad.akibi



ACCESS

JR「秋田駅」から羽越本線「新屋駅」下車 新屋駅から徒歩15分	
JR「秋田駅」から秋田中央交通バス 新屋線「美術大学前」下車 徒歩1分	
秋田新幹線 東京駅 秋田駅	3時間49分
飛行機 羽田空港 秋田空港	65分
伊丹空港 秋田空港	80分
中部国際空港 秋田空港	85分
新千歳空港 秋田空港	55分

秋田公立美術大学大学院 複合芸術研究科
〒010-1632 秋田県秋田市新屋大川町12-3
Tel: 018-888-8105 <http://www.akibi.ac.jp/daigakuin/>



社会との関係性を深めながら
領域を拡大している
現代芸術を「複合の視点」から研究し、
理論化・体系化する。
芸術の複合的な研究を実践する
全国唯一の美術系大学院

秋田公立美術大学大学院 複合芸術研究科

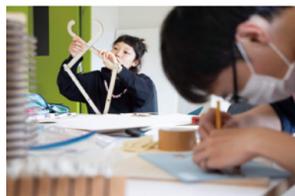
2021年度 修士課程 / 博士課程 学生募集

The Transdisciplinary Arts program is led by instructors who are actively engaged in the fields of art and design. Students can gain practical skills and hands-on experience while acquiring the knowledge, techniques and perspectives necessary to carry out this unique form of art research.

Akita University of Art Graduate School of Transdisciplinary Arts

2021 Master's Program/Doctoral Program Application Guidelines

<http://www.akibi.ac.jp/daigakuin/>



博物館展示論「十和田市現代美術館」服部先生



アントニー・シェルトン氏 特別講演「Aztec Art and Philosophy」



インストールワークショップ(アーツセンターあきた主催)



大学院 修了研究展2020 公開講評会(上) 公開座談会(下)

在学生の声

ある地域、ある時代の「落し物」を探す



中須賀 愛美
Nakasuka Manami
広島市立大学芸術学部
美術学科日本画専攻卒業



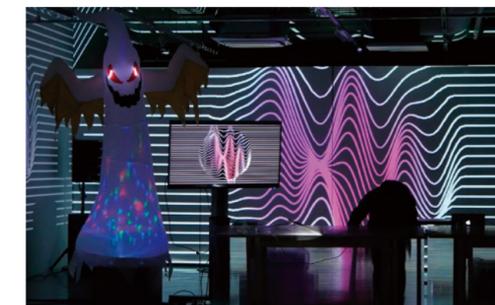
修士課程では「喪失」や「忘却」を、生において逃れがたいテーマだと捉えてきました。秋田の研究対象の地域では、企画したアートプロジェクトを進行する中で、「喪失」や「忘却」が、どのようにあらわれているのかを調査し、考察を深めていきました。例えば、今はシャッター商店街となっているある通りに、どのような記憶が残っているかをリサーチし、閉店してしまっただけの店にのれんを掛けるプロジェクトを行いました。住民の方へのれんをめくりながら、世代間の認識の差を越えて、無くなっていく商店街へと想いを馳せているようでした。静かに忘れられていく場所が、誰かの心に残りうる。こうした経験を踏まえ、ある地域、ある時代の「落し物」を探すような視点を持ちつつ、場へ介入していくことに引き続き取り組んでいます。

難しいところは、地域の人々の暮らしへの配慮です。地域で行われるアートプロジェクトの性質そのものだと思いますが、特にこちらから企画を持ち込む分には、生活に差し障りがないようできる限り心掛けたいところです。そうした苦心の中で住民の方から励ましや差し入れを頂くと、何だか感動してしまいます。また、考察する中で地域のこれまでと違う面が見えてきたときは非常に面白く感じます。印象的な出会いがたくさんあり、想い出深いです。学生の一人暮らしで山へ連れて行って貰ったこともありましたし、山菜やきのこを採りに山へ連れて行って貰ったこともありました。豊かな自然とそれを活用する人々の暮らしに魅了されました。

死を憶え、人生を巡らしよう



林 文洲
Lin Wenzhou
中国・華僑大学文学部
新聞伝播学コース広告学専攻卒業



学部では、メディア運営、番組制作、ブランドマーケティング、コピーライティングをはじめとする広告学を学んでいました。卒業後は中国の会社に勤めていたのですが、生と死を主題とする「美術」に興味を持ち、日本に留学することを決めました。あらゆる生き物にとって、誕生から老衰へのプロセスは逃れられませんね。こうした残酷で絶対的

な道筋は我々に平等に与えられています。その中で、人々はどのように人生と向き合っているのでしょうか。私の研究では、頻りに戦乱と疫病に襲われていた頃の、日本と西洋の中世に注目し、当時の美術表現の人生観・死生観を調査し、論考をまとめたかと考えています。論文で修了を目指していますが、現代社会の死生観における命の

物質化、客体化、データ化を批判するようなメディアアート作品の制作を習作として取り組んでいます。論文の研究も、制作技術の習得も、僕は素人からのスタートなので、やらざるを得ないこと、やりたいことが山ほどあります。知識も時間もお金も欲しいです。古代人はおそらく賢者の石、打出の小槌、若返りの泉が幻想的で非現実的な存在と知ってながら、あ

る意味の慰めとして大事にしています。大学院に留学していると、その古代人の気持ちが理解できる気がします。忙しい毎日ですが、通学途中に静かに流れている雄物川を眺めると心が落ち着いてきます。休日には秋田の山を登ったり、雪一面の海辺で写真を撮ったりしながら、人々の合間の静かな平穏も味わっています。

学ぶ時間、創る空間

東北・秋田を拠点とし、世界に発信する。多様な研究を支える環境を整えています。



G1S

作品展示、研究発表、トークイベント、ワークショップなど多用途に対応するスタジオ。木材や金属などの素材加工をおこなう工作室、多彩な映像音響機材、3DプリンタやCNC等のデジタルファブリケーション機器を有しています。



院生室

大学院生に個人のスペースとノートPCが貸与されます。プリンタ等の出力機器と授業やミーティングに対応する共有スペースを備えています。図書館やキッチン併設し、24時間出入り可能なため、いつでも研究に打ち込めます。



大学附属図書館

アート・工芸・デザイン関係の幅広い文献、雑誌や新聞、映像資料に各種データベース等...様々な蔵書が充実しています。美術関連のみならず、幅広い個人の研究志向に合わせて、新たな分野の書籍の収集もサポートします。



アラヤイチノ・新屋NINO・あらやさん

新屋地域の方々からお借りしている「空き家」を活用した3軒のスペースです。作品発表や自主企画のライブイベント、パーティー、アーティストレジデンスでのゲスト宿泊など、大学の外で様々な実践が可能です。



アーツセンターあきた

秋田公立美術大学が設立したNPO法人。多彩な教養が展開する数々のプロジェクトや研究成果といった美的リソースと地域を繋ぎ、アートやデザインを用いて新たなプロジェクトに取り組んでいます。



ビヨングポイント BIYONG POINT

CNA秋田ケーブルテレビと大学が運営するホワイトキューブギャラリー。実験的な展覧会やプロジェクトの企画を進めるとともに、多くの人に、より芸術に親しんでいただくエデュケーション・プログラムも実践しています。

FACULTY

複合芸術論および複合芸術演習担当教員



小田 英之
Hideoyuki Oda
研究科長 / ビジュアルアート



尾登 誠一
Seichi Onobori
ソーシャルデザイン



白杉 悦雄
Shirasugi Etsuo
比較文化学 / 文化史



藤 浩志
Hiroshi Fuji
アートプロジェクト



岩井 成昭
Shigeaki Iwai
複合芸術トライアル



今中 隆介
Ryusuke Imanaka
プロダクトデザイン



志邨 匠子
Shoko Shimura
美術史



岸 健太
Kenta Kishi
アーバン・スタディーズ



飯倉 宏治
Koji Iigura
情報科学



石倉 敏明
Toshiaki Ishikura
芸術人類学 / 神話学



萩原 健一
Kenichi Hagihara
映像メディア



服部 浩之
Hiroyuki Hattori
アートマネジメント・キュレーション



唐澤 太輔
Karasawa Taisuke
哲学 / 文化人類学

※より幅広い研究領域をサポートできるように、本学全教員が「特別研究I-II」および「制作技術研究演習I、II、III」、「複合芸術実習」を担当します。秋田公立美術大学教員についてはWebサイト内の学部各専攻・センターのページを参照してください。